

年齢	48	歳	性別	男	○女	初診	1978.6.14	作成日	2018.7.22
主 訴	絶経期前後諸症（更年期総合征）（P.665） 月経不調3年								
病 史	当該の患者は月経不調3年、月経は量が多く色は淡、頭昏、目が腫れる、日毎に食事量が減り、大便是糖、夜間尿が多い、肢体の関節に疼痛があり、屈伸不利もある。畏寒喜暖があり、暑い日でも綿の入った衣を着て伏していること、已に3年が過ぎた。このような（保温）状態を脱すると、疼きが甚だしい。肢端は麻木し、倦怠乏力があり、已に2年もベッドで寝て居ない。 先ずいくつかの医院での検査を受診したが、均しく確定した診断はされなかった。ビタミン等の代謝促進類の薬物やそれよりも強い抗風湿類の薬物治療を行ったが無効であった。								
四診所見 (検査)	【望診・聞診・問診・切診】 ①面色が蒼白で、憔悴している ②形体瘦弱 ③精神萎靡憂鬱 ④四肢の知覚がやや遅鈍								
舌 診	⑤舌質：淡、尖紅								
脉 診	⑥脉：沈細無力、左関緊								
病位弁証	【五臓：肝・心・脾・肺・腎】【六腑：胆・小腸・胃・大腸・膀胱】【奇恒之腑：脳・隋・骨・脉・女子胞・命門・精室】								
八綱弁証	【表証・裏証・半表半裏証】【寒証・熱証】【虚証・実証】【陰証・陽証】								

病性弁証	<p>【氣病弁証】 氣虛・氣陷・氣滯・氣逆（肺氣・胃氣・肝氣）・氣隨血脫・氣虛失血・氣血兩虛</p> <p>【血病弁証】 血虛・血熱・血瘀・氣滯血瘀</p> <p>【津液不足弁証】</p> <p>【津液病弁証】</p>
病因弁証	<p>【六淫弁証】 風・寒・暑・濕・燥・火</p> <p>【七情弁証】 喜・怒・憂・思・悲・恐・驚</p> <p>【飲食勞倦弁証】 傷食・中毒・過勞・過逸</p>
病機	
証名	
弁証分析	
主要な弁証類型	
治則治法	
配穴処方	
処方意義 (按語)	

--	--